

平成22年度 農村環境整備センター主催の研修会等(予定)

研修会名称		内容	日時	場所	対象者	定員	受講料	備考
農村環境技術研修	景観配慮コース	農村地域における生態系配慮と景観配慮との統合手法の普及啓発を図るために、実践的な考え方、実施手順、実施に係る諸手法など、生態系と景観に配慮した農業農村整備を進めていく上での基本的な考え方と進め方を習得する。	平成23年2月14日(月)	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木)	国・県・民間等の農業農村整備に係わる技術担当者等	150名	無料	
	景観づくり実践コース	農村地域の景観づくりにかかる理念や計画手法などを学ぶとともに、特に農地・水・環境保全向上対策など、地域住民が主体となって行う景観づくりの進め方およびその技術等を習得する。	平成23年1月以降を予定	調整中	農村環境整備センターの会員で、農業農村整備に係わる技術担当者等	50名	無料	農村環境整備センター会員限定
農村環境保全実践研修	生きもの調査編(リーダー研修)	地域住民が主体となって楽しく取り組むことができる、簡易な生きもの調査の実施方法について実習を中心に学ぶ。田んぼの生きものと共生する地域づくりを進めていくための基礎的な活動となる。田んぼの生きもの調査を地域で主導する「調査リーダー」の育成をねらいとする。	調整中	調整中	農地・水・環境保全向上対策等の農村環境の保全に取り組む農家や地域の指導者	30名	無料	
	水田魚道編	多くの生物と共生しながら稲作を行うための一手法である水田魚道の設置について、その意義や基本的な考え方、設置方法、設置後のモニタリング等について実習を中心に学ぶ。	調整中	調整中	農地・水・環境保全向上対策等の農村環境の保全に取り組む農家や地域の指導者	30名	無料	
指導者養成研修「田んぼの学校」	現場指導者コース	農業農村を活用した環境教育活動等を実施する際に必要な知識や技術に係る講義及び実習を行う。活動を実施する際の一般的な手順や留意すべき点、体験活動の指導方法等を理解し、指導者として実施に関わることができる人材を育成する。	平成22年12月 17日(金)～19日(日) <2泊3日 合宿>	福岡県星野村	農村地域における環境教育活動等に取り組もうとする者、関心のある者等	30名	有料	合宿形式のため、宿泊、食事等は事務局で一括手配。
	現場指導者コース	農業農村を活用した環境教育活動等を実施にかかる基礎的な知識や技術に係る講義及び実習を行う。活動を実施する際の一般的な手順や留意すべき点を理解し、実施に係わることができる人を養成することをねらいとする。	平成22年10月 29日(金)～30日(土) <1泊2日 合宿> 平成22年11月 26日(金)～27日(土) <1泊2日 合宿>	新潟県魚沼市 岡山県久米南町	「農地・水・環境保全向上対策」活動組織や「子ども農山漁村交流プロジェクト」受入地域、水土里ネット、NPO、農業者等を広く対象とする。	30名 30名		
「田んぼの学校」指導者養成研修を修了すると、NPO法人自然体験活動推進協議会(CONE)が定める「自然体験活動リーダー」(現場指導者コース)、 「自然体験活動リーダー(農林)」(現場指導者コース)として、同協議会に登録することができます。同協議会への登録は、自然体験活動に関する一定程度の知識、技術を学んだことの証明になります。								
田園自然再生セミナー		田園自然再生活動コンクールの表彰事例を広く紹介する。	平成22年10月18日(月)午後	国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホール(東京都渋谷区代々木)	農村地域における自然再生活動に取り組む者、関心のある者等	200名	無料	

研修会場までの交通費および、宿泊や食事にかかる費用は、受講料に含まれておりません。また、実習が含まれる研修については、保険料を徴収する場合があります。